

学校評価アンケート結果

各対象者内において 評価が高い…

評価が低い…

番号		項目	質問内容	保護者	児童	職員	上期との比較
1	心の教育	基本的生活習慣の確立	●明るいあいさつを交わしたり自らあいさつをしたりする児童の育成ができたか。	3.23	3.24	2.83	○
2			児童が取り組みやすい生活の目標を設定し、次の日の目標につなげる工夫ができたか。	3.20	3.17	2.92	○
3		豊かな人権感覚を育成する指導方法等の工夫・改善	児童とのふれあいを大切にし、個の特性や抱える問題の理解・把握に努めたか。	3.27	3.67	3.08	○
4			保護者や地域と連携をとり、啓発活動が実施できたか。	3.13	3.40	3.08	○
5		(特別の教科 道徳)における議論する道徳の充実	「熊本の心」や「きずな」等を活用し、考える道徳の授業を実施できたか。	2.80	3.35	2.78	○
6		縦割り班活動の積極的な活用、集会活動の効果的な運営	委員会を中心とした企画運営等、集会活動の基礎を指導し、児童が運営できる指導ができたか。	3.10	3.39	3.00	▲
7			各学年に応じたコミュニケーション能力の素地を養う活動ができたか。	2.90	3.57	2.64	▲
8	健康・安全	積極的生徒指導の推進	毎月の生活目標を学級化し、「是は是、非は非」の積極的生徒指導が実践できたか。	2.93	3.55	3.08	○
9			いじめ・不登校はいつでも起こり得るととらえ、欠席の児童や不登校傾向の児童への積極的な対応ができたか。(愛の123運動+1)	3.37	3.57	3.18	▲
10			●安心と信頼にあふれる、高め合う人間関係(含学級)つくりに努めているか。	3.20	3.70	3.17	○
11		体力向上を図る取組の推進	自分の健康に関心をもち、積極的な体力向上を図ることができる指導を行ったか。	3.23	3.61	3.17	○
12			児童の健康状態を把握し、病気の予防と早めの治療を促す指導ができたか。	3.13	3.48	3.08	○
13		交通ルールの遵守と登下校のルールの徹底	危険予測学習を行い、自分の命は自分で守るための方法を考えさせる指導ができたか。	3.43	3.65	3.25	○
14			学校行事における安全指導および、施設設備の点検は徹底できたか。	3.37	3.42	3.33	○
15	生きる力の育成	早寝早起き朝ご飯の推進と食育の充実	早寝早起き朝ごはんを推進するために、保護者啓発と児童への呼びかけを行ったか。	3.13	3.53	2.91	◎
16			食の大切さと健康との関連を指導し、保護者への啓発を行ったか。	3.23	3.38	2.91	◎
17		「熊本の学び」の推進	●児童の「わくわく」が連續し、「分かった」「できた」「もっとやってみよう」が生まれる授業づくりに努めたか。	3.13	3.43	3.09	○
18			学年に応じた家庭学習の習慣化と内容の充実を図ることができたか。	3.13	3.69	2.91	○
19			●自分なりの問い合わせ立て、探し、新たな問い合わせへつながる「探求的な学び」の展開を図ることができたか。	3.30	3.40	2.58	◎
20		国語科の授業や日常的な教育活動の中で、自分の考えを適切に表現しようとする力の育成	●各学年に応じた、考えを「もつ」「表現する」力を養う活動ができたか。	3.33	3.03	3.00	◎
21			日常的に正しい言葉(敬語等)を使える環境を整えることができているか。	2.93	3.23	3.08	○
22	社会に開かれた教育課程	特別支援教育の充実	一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができたか。	3.13	3.38	3.08	○
23		自主的な清掃活動と清掃活動の徹底	掃除箇所を見つけて無言清掃できるよう指導を徹底させたか。	2.47	3.43	3.08	▲
24		読書活動の推進	学年目標を目指した読書活動(冊数、内容の充実)が推進できたか。(目標冊数)	2.40	3.63	3.00	◎
25		社会に開かれた教育課程	●保護者や地域と連携をとり、感謝の気持ちを込めたあいさつ等を推進したか。	3.20	3.27	3.00	○
26			保、小、中との連携や他校、諸施設との交流を積極的に行ったか。	2.62	3.52	2.92	○
27			学級通信を、家庭や地域との連携の場ととらえ、役立たせているか。	3.37	3.22	3.09	○
28	学校改革の取組	勤務時間の縮減を図り、効果的に公務を遂行できるよう工夫しているか。		3.13		3.08	○
29			不祥事防止の意識をもって常に行動しているか。	3.07		3.42	▲